

ごあいさつ

沖縄県衛生環境研究所長 国吉 秀樹



沖縄県衛生環境研究所長 国吉 秀樹

平成31年4月1日付けで所長を拝命いたしました。衛環研ニュースの紙面をお借りしてご挨拶申し上げます。

沖縄県衛生環境研究所は、地方衛生研究所、環境研究所、両方の機能を備えた施設であり、前身の中央検査所が昭和17年に沖縄中央病院内に置かれてから、琉球衛生研究所、沖縄県公害衛生研究所を経て、平成6年には沖縄県環境衛生研究所と、それぞれの時代の課題、要請に向き合ってきました。沖縄県の公衆衛生上の課題は様々でしたが、保健所や関連する機関、団体と連携しながら多くの経験を重ね、今日に至っています。平成29年4月には南城市大里からうるま市兼箇段に移転し、今日的な需要に対応できる最新の検査設備、機器が整備され、セキュリティ機能の強化が格段に行われました。

当施設を含めた地方衛生研究所の業務と機能は、①試験検査、②調査研究、③研修教育、の専門技術業務と、④公衆衛生情報の収集、解析、提供の4本柱です。現状では①試験検査、の占める割合がかなり高くなっていますが、②調査研究、③研修教育の人材育成を含めた充実強化も図って参ります。そして、近年さらに重要となっているアウトブレイク対応などの健康危機管理をよりの確、迅速にできるよう、組織機能強化に努めます。

私はこれまで保健所で医師、所長として勤務してきましたが、昨年の麻しん流行のアウトブレイク、平成21年の新型インフルエンザの県内での大

流行と遷延化、特殊な例として平成16年の米軍基地内からの冷凍ハンバーグに起因する腸管出血性大腸菌食中毒事例、などを経験しました。これら困難な健康危機管理事例に直面するにあたり、当時の衛生環境研究所と密接な連携を取ることができ、適切に業務を進められたことは、自らの公衆衛生医師としての活動にも大きく寄与しています。

最後に、当研究所は、公的研究機関として今後も様々な健康危機事例や環境問題への対応、健康長寿おきなわを取り戻すための疫学情報の解析と提供、さらにハブや海洋生物など本県特有の健康課題への取り組みなど、行政施策の推進に職員一丸となって取り組んで参ります。これからもよろしくお願いいたします。